

大会の救護体制について

大会会場には専門の救護班が待機しております。救護ビブスを装着した者が担当です。倒れている人、具合が悪い人を見つけた際にはお声がけください。

なお付近に救護班、大会スタッフがいない場合は下記専用携帯にお電話ください。

救護班専用携帯番号

0 8 0 - 5 5 5 2 - 6 3 7 5

※電話連絡の際にお聞きする事

- ①倒れているおおよその場所
- ②どういう状況か



↑ (救護員が装着するビブス)

下記の場合はすぐに【119番通報】を実施してください。
その後救護班へ連絡をください。

- ①呼吸がない
- ②意識がない
- ③意味不明な言葉を発している
- ④大出血している (血が止まらない)

すぐに【119番通報】してください

心肺蘇生法について

心臓が止まってから時間が経過してしまうと救命率は減少します。カーラーの救命曲線では心臓が止まってから**3分後**には**死亡率50%**です。

日本国内では、救急車が倒れている方へ到着する時間は約8分～8分30秒です。助けるためには皆さんによる心肺蘇生法が重要になってきます。

倒れている人を発見した場合は下記の流れで心肺蘇生法を実施してください。

①意識の確認

倒れている方へ声かけ、肩を叩いて反応を確認してください。

②助けを呼ぶ（119番通報・AED）

周りに大声で助けを呼ぶとともに、手伝ってくれる方に119番通報とAEDを依頼します。【なお救護班がAEDを持っていますので呼んでください】

③呼吸の確認

呼吸の確認を行います。胸、お腹の動きを確認します。

④胸骨圧迫開始（30回）

胸骨圧迫を開始します。胸の真ん中を強く圧迫します。



⑤人工呼吸（2回）

気道確保を行い、人工呼吸を行います。なお人工呼吸ができない場合、出血や食べ物などを吐いている場合は無理に実施せず、胸骨圧迫を行います。

⑥AED到着

AED到着後は救護班が指示を行います。お手伝いをお願いいたします。

※個人情報保護について

当事業所では救急専門医師、救急救命士で症例検証を行っております。検証では活動内容や救護統計を作成し、救護体制強化、社員教育を実施しております。個人情報は救護活動に使用する以外、他の目的では使用しません。また第三者へも開示いたしません。

なお詳細につきましては当事業所ホームページ「プライバシーポリシー 個人情報保護方針」をご覧ください。

当日の救護体制・資料に関するお問い合わせ先

佐藤レスキュープラン

電話：024-955-6542

FAX：024-955-6543

携帯：080-5552-6375

URL：<http://sato-rescueplan.com/>